

# Wintech Digital 社

## TDS510USB PLUS (C5000 サポート)

### TI 社 CCS ドライバ

# インストールガイド

第 2 版 2010.1



株式会社 ロイノス DSP 開発ツール  
 Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682  
 URL : [www.roinos.com](http://www.roinos.com)  
 Email : [tool@roinos.com](mailto:tool@roinos.com)



**複製禁止**

- 1. まえがき ..... 1
- 2. システム要件 ..... 1
- 3. 取り扱い上の注意事項と保証期間 ..... 1
- 4. 梱包内容 ..... 2
- 5. Code Composer Studio インストール ..... 2
  - 5.1 CCS Ver3.3 の場合 ..... 2
  - 5.2 CCS Ver3.1 の場合 ..... 4
  - 5.3 CCS Ver2.2 の場合 ..... 4
- 6. TDS510USB PLUS 用ソフトのインストール... 5
  - 6.1 CCS Ver3.3 の場合 ..... 5
  - 6.2 CCS Ver3.1 の場合 ..... 5
  - 6.3 CCS Ver2.2 の場合 ..... 6
- 7. TDS510USB PLUS の認識 ..... 6
- 8. CCS セットアップに関する役立つ知識 ..... 7
  - 8.1 GEL の利用 (CCS Ver3.x 対応のため) ..... 7
  - 8.2 DSK や eZdsp 用のパッチ ..... 7
  - 8.3 マルチコアプロセッサについて(CCS Ver3.1 以降) ..... 7
  - 8.4 マルチプロセッシング ..... 8
- 9. CCS Setup の設定 ..... 8

### 目次

- 9.1 CCS Setup Ver3.3 の例 ..... 8
- 9.2 CCS Setup Ver3.1 の場合 ..... 9
- 9.3 CCS Setup Ver2.2 の例 ..... 9
- 9.4 CCS Setup の import で設定をする方法(CCS Ver3.3,3.1) ..... 10
- 9.5 CCS Setup の import で設定をする方法 (Ver2.2) ..... 11
- 10. 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.3,3.1 の例) ..... 11
  - 10.1 DSK C5416 の場合 ..... 11
  - 10.2 DSK C5510 の場合 ..... 12
  - 10.3 SR-MK2 の場合 ..... 12
- 11. 汎用的ボードの具体的設定(CCS2.2 の例)..... 13
  - 11.1 DSK C5416 の場合 ..... 13
  - 11.2 DSK C5510 の場合 ..... 13
- 12. 不具合対応 ..... 14
  - 12.1 CCS Ver3.3 サービスリリースについて 14
  - 12.2 動作が不安定 ..... 14
  - 12.3 常駐ソフトについて ..... 14

12.4 指定したデバイスドライバに対応していないというエラーがでて CCS が起動しない.....	14
12.5 CCS がマニュアルと異なった動作をしているように見えるとき .....	14
<b>13. 故障対応.....</b>	<b>14</b>

## 1. まえがき

Wintech Digital 社 エミュレーションシステム TDS510USB PLUS をテキサス・インスツルメンツ社 Code Composer Studio と組み合わせて使用することで実機のエミュレーションを行うことができます。

テキサス・インスツルメンツ社の TMS320 ファミリーをサポートしています。システムの特徴は次の通りです。

- ▲ Windows xp/2000/98/ME 上での実行。
- ▲ TI 社の JTAG デバッグをサポートしているプロセッサのエミュレーション。  
本製品について、株式会社ロイノスは C5000 シリーズ DSP の接続サポートを行います。製品自体は C6000,C2000,VC33,OMAP,DaVinci で使用できる能力がございますが、それらのプラットフォームに関してのロイノスのサポートは別契約となります。
- ▲ USB 1.1,USB2.0 ポートでの使用
- ▲ 1V から 5V までのターゲット I/O 電圧に自動対応
- ▲ 外部電源不要

本書では Code Composer Studio を CCS、テキサス・インスツルメンツ社を TI と称する場合があります。

## 2. システム要件

本書は、Wintech Digital 社のエミュレータ TDS510USB PLUS と TI の Code Composer Studio、C5000 シリーズの DSP を搭載したターゲットボードを使用する方を主な対象としています。ホストパソコンに必要な条件は次の通りです。CCS が下記以上のリソースを必要とする場合にはそちらに従ってください。

### 共通事項

- ▲ 256MB 以上(OS により変わります)のメインメモリ
- ▲ VGA 以上のグラフィック能力
- ▲ PC-AT コンパチブルコンピュータ
- ▲ USB 1.1,USB2.0 ポート 1 個
- ▲ Windows xp/2000/98/ME

## 3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

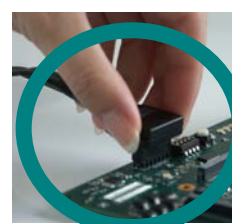
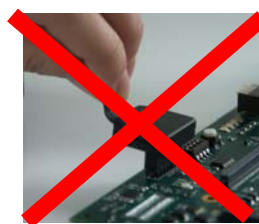
製品は、実用性を踏まえつつ、設計されておりますが、機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には機械的衝撃を与えない、**ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)をかけない**ようお願いいたします。**JTAG ケーブルで本体をぶら下げて使用すると JTAG ケーブルの痛みが非常に早くなりますのでおやめ下さい。**

また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、フレームグラウンドの電位差による循環電流を流さないようにホストパソコンとターゲットボードのグラウンドは POD とは別に導線で常時接続することをお勧めします。

製品の保証期間は1年間です。その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。その期間を過ぎた場合には有償修理となります。保障期間内でも故障の原因によっては有償となる場合があります。

ロイノスでは1年を超えた後でも、有料にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web あるいは営業までお問い合わせ下さい。

製品の構造上、JTAG コネクタの部分の接続が割と弱く、コネクタの挿抜の際にケーブルを引っ張るとコネクタ内部で接触不良が起き、CC(S)の動作が不安定となります。**かならず JTAG コネクタのシェルをつまみではずすようにしてください。**



また、JTAG のケーブルで POD 本体を吊り下げて長期間ご使用になることもお控えください。JTAG ケーブルの内部の線が断線します。

